



渕水だより

No. 8

楽しい学校

9月19日(土)、運動集会が行われました。仲間と過ごす子供たちの楽しそうな笑顔、一生懸命競技に挑む真剣な表情…、一人一人の子供たちの素敵な顔をたくさん見ることができました。多くの方々に見守られて活動する子供たちは、どこことなく嬉しそうで、家庭や地域に温かく見守られて子供たちが育っていると感じました。この運動集会は、コロナ禍の影響で今までの運動会の実施が難しくなった代わりとして、教職員と子供たちが知恵を出し合い、協力し合って生み出した集会です。その時間を子供たちは特別なものにしてくれました。渕水っ子に本当に感謝です。

<自分と勝負>

今年度100m走の得点は、記録に応じた得点が与えられる仕組みに変わりました。さらに、自己新記録を出した場合は得点が加算されます。着順ではなく、このような仕組みに変更したのは、他者との勝負の前に、まず自分と勝負して克つことを子供たちに大事にしてほしいと考えたからです。自分との勝負は、自分の思いと努力があれば何とかできます。自分のできることに一生懸命になる。そんな子供に育ってほしいという願いが込められています。

本番では子供たちの真剣な姿が随所に見られ、自己記録を更新した子供もたくさんいました。何事にも一生懸命な渕水っ子一人一人のよさが表れた競技でした。ちなみに、子供たちが手に入れた100m走の総得点を計算すると勝ったのは赤団です。子供たちの活躍と、得点方法の変更に頭をひねり、複雑な得点算出に苦勞された先生方の活躍に支えられた100m走団体競技でした。

<本気で挑戦>

多くの子供たちが同じ場所で活動するには多くの課題があり、それらを解決して初めて可能となります。今年度のなかよし団競技もその一つです。子供が競技を心から楽しめば、声は出るし、距離も近くなります。その課題を前提にどうすれば楽しく安全にできるか、子供たちと教職員が工夫を重ねて創り上げたのが「渕水の呼吸」です。やらないという選択肢もあった中、全校の子供たちが一つの事に取り組む機会を設けたいと考えてくれました。思いをもって課題の解決に本気で挑戦してくれた子供たちと教職員に感謝しています。競技のお試しを体育館で行い、フロアを水浸しにしたことも今では楽しい笑い話です。

<感謝>

今回の集会で私が最も心ひかれたのは6年生8人から受けたエールです。今年度は、様々な制約があって、なかよし団活動が十分に行えていません。「やればできる」「ONE TEAM」という言葉は、6年生が下級生に伝えたかったメッセージだと思います。家族と地域、学校には「見守ってくれていることへの感謝」の言葉がありました。見守る方々がいてくださるといことがとても有難いことなのだという6年生の思いを感じます。彼らがあそこまで大きな声を出し、力強い動きができた源は、学校の仲間や自分たちを見守る人々への感謝だと思います。伝えたかった思いを自分たちの姿で示す6年生を見て、立派な最上級生に育っていることを感じ、目から汗がにじんできました。

今回の運動集会実施にあたり、参観をご遠慮いただいた方々、当日のグラウンド整備に力を貸していただいた保護者の方々、子供たちの競技に温かい声援をかけてくださった方々等、本当に多くの方のご理解とご協力をいただきました。まさに釜ヶ淵は「ONE TEAM」。本当にありがとうございました。

今後も学校は、当たり前前に感謝し、難しいことでもできる方法がないか考えていきます。ご家族、地域の方々と教職員、みんなで力を合わせ、釜ヶ淵小学校の楽しい時間を創っていきたく思います。ご理解とご協力、よろしくお願ひいたします。

尾崎 斉